



サキドリ/事業での「探究的な学び」が進んでいます！

～その土台となる「居心地のよい学級づくり」も進行中～ 校長 八重沢 央

4月に始まった1学期が、24日(金)の終業式で終わります。わずか4カ月の学校生活ですが、年度当初よりも一人一人が成長したなあと感じる事ができて、とても嬉しく思います。

さて、今年度文科省から研究指定を受けて取り組んでいるサキドリ研究校事業(※1)も確実に進んでいます。中里中学校では、基礎学力の定着を毎年度目指していますが、本年度は「学ぶ意欲と学習の基盤となる力(※2)」(自分をつくる力の一部分)

を高めることに重点を置いています。「学びたい、知りたい、分かってほしい」という学ぶ意欲を高めるとともに、学習の基盤となる力を教科の学習と並行して育むことが、学力の定着に繋がります。

そのために注目したことが「探究的な学び」です。自分あるいは自分たちの興味関心のある課題から学びをスタートし、試行錯誤しながら課題解決を図る探究的な学びを実践することで、学ぶ意欲や基盤となる力が高まると考えています。今年度は「探究基礎」と題して、1年生20時間、2・3年生15時間の授業を行う予定

ですが、1学期は、市教育センター指導主事から5時間～8時間の探究基礎の授業をしてもらいました。「探究基礎の概要説明や情報の整理」「シンキングスキル(比較や分類など)やアクションスキルを学ぼう」「プレゼンしよう」などをテーマにした学習を行いました。生徒は生き生きとした表情で学習し、活気ある話し合いやじっくりと考える姿、真剣にプレゼンする姿が、各学年ともに広がっています(写真)。

こうした姿が見られる要因は、春から皆さんが目指している居心地のよい学級にあります。誰もが学級において安全に安心して生活できること、学び合い高め合う「よし一緒に頑張ろう!」という友人関係ができていることなどが、探究的な学びの成果に結びつく鍵です。これから迎える夏休みは、少し学級から離れ「個」の時間が多くなりますが、自分に負けず粘り強く、個の力を高めてください。そして高まった個が集まり、2学期はさらに上の学級を作りあげてほしいと思います。サッカー森保ジャパンの選手たちも、ワールドカップを終えそれぞれ個の力を高めるステージに向かっていきます。4年後のワールドカップも楽しみです。まずは皆さんの活躍、学級の成長こそが何よりの楽しみです。

よい夏休みにしてください。

(※1) サキドリ研究校事業とは、いくつかの教科の時数を調整し、調整した分を以下の時間などへの活用を可能とするものです。

(※2) <学習の基盤となる力>

- ① 課題を発見する力と学ぶ意欲
- ② 根拠をもとに考える力
- ③ 比較・分類して、整理する力
- ④ 情報を読み取り、整理する力
- ⑤ 多面的・多角的に考える力
- ⑥ 表現し、伝え合う力



いじめ見逃しゼロスクール集会



1日(水)3年生が中心となり、いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。今年のテーマは「気付く・考える・行動する ～傍観者から仲裁者への第一歩～」です。いじめをする「加害者」はもちろんですが、いじめを周囲ではやしたてたり、笑ったりする「観衆」、いじめと分かりながら、何も行動できず、見て見ぬふりをする「傍観者」も加害側であるということを全校で学ぶ機会となりました。この集会の裏側には、3年生の集会全体を通して、いじめについて真剣に考えたり、仲間の発言をしっかりと聞いたりする雰囲気づくりがありました。全校をリードする3年生の姿が光りました。

こどもの意見聴衆

今月9日(木)、こどもの意見聴衆(主催:十日町市子育て支援課)がありました。参加したのは2年生です。こども基本法(令和5年4月施行)の中に「国や地方公共団体はこどもや若者の意見を反映するために必要な措置を講ずる。」とあります。そこで、2年生と市の職員の方とワークショップ形式で、この地で暮らしていくために何が必要なのか、どんなことをすればいいのか考えました。活発な意見交換が行われ、私たちの十日町市の未来を考える充実した会となりました。市の職員のみならずからたくさんのお褒めの言葉をいただきました。



1年生公開授業 ～小中一貫教育研究授業～



今月6日(月)、中里地区の小中一貫教育事業として、1年生の社会科の公開授業がありました。単元は「世界の気候」です。ジグソーパズルのようにキーワードや写真が貼られたピースを並び替える問題に対して、班の仲間と知恵と意見を出し合い、答えを探す活動をしました。「○○だから△△ではないかなあ」と根拠を出しながら自分の考えを述べる生徒、「その写真、テレビで見たことがある!」とこれまで知識をもとに話す生徒など活躍する1年生を見ることができました。参観した田沢小の先生方も成長を感じたと話していました。1年生頑張っています!

ツールド妻有に向けての準備を頑張っています



今年度も中里中全校生徒でツールド妻有の交流活動に参加してきます。その活動の準備として、6月30日(火)に「生き方講演会」と題して、ツールド妻有の創設者である伊藤嘉朗(いとうひろあき)様と運営の中心を担っている小針伸広(こばりのぶひろ)様をお招きして、ツールド妻有のような大きなイベントを企画、運営する中での喜びや苦悩など様々なお話をいただきました。今年20周年という大きな節目を迎えるツールド妻有。伊藤様と小針様から生徒たちに「更に5年、10年続けていくためには?」という問いに対して、「新コースの設定」、「開催時期の変更」、「キッチンカーなどの出店」など多くの意見が出ました。意見が採用されるか、されないかは別として、生徒たちがツールド妻有を自分事として考えていると感じた時間でした。



また、今月21日(火)には、参加者およそ900名の事前参加案内、ガイドブック、メッセージステッカーの袋詰め活動を行いました。各学年が1時間ずつの計3時間の活動でした。参加してくださる方へ「おもてなし」の気持ち込めて、宛名のシールをまっすぐ貼ったり、袋の宛名と中身の案内にまちがいないように慎重にかつ迅速に準備したりしました。一生懸命の3時間の作業でも完成した袋詰めは600名分。残りの作業を、その日の昼休みにボランティアを募ると20名を超える生徒が来てくれました。里中生の温かさを感じた時間でした。

8月30日(日)が交流活動本番です。参加者と様々な交流活動を通して、中里中生の頑張りや温かさを発信できるよう引き続き準備を進めていきます。

県陸上大会・中越地区吹奏楽コンクール結果

【県陸上大会(長岡市)】

★女子砲丸投 南雲 美心(2年)15位8m48cm

【中越地区吹奏楽コンクール(長岡市)】

★中学生Bの部 中里中、十日町中、水沢中の3校合同バンド 銀賞

8の予定

<8月>

6日(木) 子育てフォーラム(中里なかよし保育園)
8日(土)～17日(月) 閉庁日
14日(金) かわっぺり(吹奏楽部参加)
18日(火) わたしの主張十日町・中魚沼地区大会

27日(木) 2学期始業式
28日(金) 短縮日程、5限授業、部活あり
30日(日) 全校ツールド妻有交流活動
31日(月) 振替休日